学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	舞台表現Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎的な発声法や姿勢などの技術を身に付けて作品を作成、発表していきます。人前で発表する経験を通して、自分に自信を持てるように一所に頑張りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　実践的な発声と発音に加えて、話す速度など「相手に聴きやすい」話し方を身に着つける
【思考力、判断力、表現力等】
　「人に伝える」ための表現力を身につける。「人に伝える」ためにふさわしい題材を選ぶことができる
【学びに向かう力、人間性等】
　自分の持っている技術を最大限に生かすための努力をしている

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基礎的な発声方法や姿勢を身に付けている ・場面に合った言葉､速さで話すことができる。 ・聞き手に伝わるように話すことができる。	・場面に合わせて、喜怒哀楽などの感情を表現することができる。 ・話の全体の流れを把握し、他の登場人物との関係性を判断し表現することができる。 ・感情が相手に伝わるように工夫し、表現している。	・それぞれの単元に積極的に取り組んでいる。 ・周りと協力し、作品を仕上げる努力をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	発声の基礎	発声に適した姿勢 発声に適した呼吸法 滑舌を良くする方法	a:発声の基礎となる姿勢や呼吸法を身に付けている。話すときの滑舌を意識することができている。 c:発声の基礎を身に付けるために積極的に参加している	実技テスト		授業観察
	表現力について考える	舞台映像を観劇し、多彩な表現方法、発声方法を学ぶ	a:様々な舞台を観劇し、舞台の種類によって独特な発声法や表現方法があることを理解している b:舞台を観劇することで学んだ表現方法を使って、題材に合った表現方法を工夫している c:積極的に映像を観劇し、気付いたことや感想を書いている	プリント	プリント	授業観察
ステージ2	紙芝居の作成	題材選び 紙芝居作り ・音探し ・セリフ構成 ・紙芝居作成	b:発表する題材に合った「音探し」「セリフ構成」を考えることができる。 c:すべての工程について、周りの意見を聞きながら積極的に参加している。		授業観察	授業観察
	紙芝居の発表	紙芝居発表 ・リハーサル ・各グループの発表	a:場面にあった発声、声量を使うことができている。 b:題材に相応しい、表現でセリフを言うことができる。発表を通して、観劇する人の心にメッセージを送る工夫をしている。 c:自分の発表に積極的に参加するとともに、他のグループの発表もしっかりと観劇している。	発表 授業観察	発表 授業観察	発表 授業観察
ステージ3	プレゼンテーション	自分の決めたテーマについて発表する ・プレゼン資料を作る ・発表する	a:教室の規模に合わせた発声や滑舌で、発表でき要る b:魅力が伝わるように抑揚をつけ、表現できている c:プレゼンテーターとして、積極的に参加している	プレゼン資料提出 発表	発表	プレゼン資料提出 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度